



～冬の腸管健康の一助に～

スキットファイバーV

研究所 畜産研究室 養牛課

子牛における軟便・水様性便の発生は、水分と大量の電解質を失うことによる脱水症状、沈鬱、アシドーシスを引き起こし、生命の危険を伴います。実際に、子牛の死亡原因の半数以上は軟便・水様性便の発生に起因しています。また、栄養摂取量が減少することで、体力がさらに低下し、肺炎など他の感染症を併発しやすくなるので深刻な問題です。したがって軟便・水様性便には速やかな対応が重要となります。本稿では、特に冬季に多くみられる子牛の軟便・水様性便発生時におすすめの「スキットファイバーV」について紹介します。



スキットファイバーVの特長

① お腹にやさしい天然植物繊維

お腹にやさしい良質の天然植物繊維源を使用しており、リンゴジュース粕、イナゴ豆、バナナ粉末などが含まれます。植物繊維には水溶性と不溶性のものがあり、水溶性植物繊維は【図1】のように消化管内で水に溶けて粘性を高め、腸内容物の通過速度を緩やかにし、水分や栄養素の吸収をサポートします。不溶性植物繊維は保水性が高く、大腸内で水分を

吸収して膨張し、大腸壁を刺激することで腸の動きを健康に保ちます。

② ビタミン類による免疫維持

ビタミンA、ビタミンD₃、ビタミンEをそれぞれバランス良く配合しています。ビタミンAは腸管上皮を保護し、細菌による侵入を防ぐ作用があります。ビタミンD₃はカルシウム・リンの吸収をサポートし、生体内でのカルシウムイオンとリンイオン濃度を正常バランスに維持します。ビタミンEは免疫機能をサポートします。

③ 吸収性の高いエネルギー源

エネルギー源として消化吸収の良いブドウ糖、乳糖を配合しています。軟便・水様性便が発生すると、飼料中の栄養素の消化吸収能力が低下し、エネルギーの体内蓄積は極めて限られた状態になります。特に子牛は体内に保有するエネルギー量が少ないため、短期間の

エネルギー不足でも急速な体力の低下を招き、衰弱につながります。したがって、軟便・水様性便時には速やかに消化吸収されるエネルギー源の補給が重要となります。

④ 電解質の補給

ナトリウム、カリウム、塩素などの電解質をバランス良く配合しています。電解質を補給することで、血中のイオンバランスを素早く正常に整えます。

⑤ 天然ハーブの配合

ハーブの一種であるセイヨウナツユキソウ、エゾミソハギ、エゾヨモギグクからの抽出物を配合しています。これらの植物には、腸管内の内容物の通過を調整する作用があります。

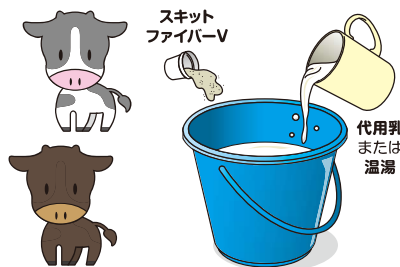
給与方法

① 導入時及び一般的な使用方法 (軟便発生時など)

スキットファイバーVを1回当たり60～70g(付属のカップ擦り切り1杯)、約40℃の代用乳または温湯2リットルに溶かして、1日2回、状況に応じて2～3日間続けて給与します。

② 重点的に給与する使用方法 (水様性便発生時など)

代用乳は与えず、スキットファイバーVを1回当たり60～70g、約40℃の温湯2リットルに溶かして、1日2回給与します。2日目以降は、1回当たり60～70gを約40℃の代用乳2リットルに溶かして、1日2回、状況に応じて2～3日間続けて給与します。



スキットファイバーVの給与試験

弊社試験場において、水様性便のホルスタイン種雌子牛3頭に対し、スキットファイバーV70g/回を代用乳または初乳2リットルに溶かして2回/日給与しました。その結果、3頭中2頭は給与翌日に糞便が固形状となり、残り1頭は2日目に糞便が固形状となりました。【図2】は、スキットファイバーVの給与前の糞便と、給与翌日の糞便を比較した写真になります。給与前は水様性便でしたが、給与後の糞便は形がしっかりと残っています。このように、スキットファイバーVは糞便を速やかかつ物理的に改善してくれる製品です。

【図2】

給与前



給与後



最後に

子牛の軟便・水様性便は細菌、ストレス、飼養管理など様々な原因により起こるため、予防が困難です。したがって速やかな対応が大切です。

スキットファイバーVは、エネルギーと電解質の効率的な補給が可能なお腹にやさしい天然植物繊維と健康維持に必要なビタミンが含まれるため、高い腸管健康サポート効果と軟便・水様性便の改善が期待できます。これから軟便・水様性便が発生しやすくなる季節となりますが、本製品が子牛の腸管健康の一助となれば幸いです。

【図1】ニンジン粉末の例

